

議 事 録

件 名	久留米市セーフコミュニティ再認証現地審査「講評」	
日 時	平成 30 年 7 月 31 日（火） 16：30～17：30	
場 所	久留米シティプラザ 大会議室	
出席者	委 員	別紙のとおり
	事務局	協働推進部協働推進課、安全安心推進課
欠 席 者	別紙のとおり	
傍 聴 者	なし	
次 第	1. 開会 2. 審査員講評 3. 閉会	
質 疑 審 査 員 ①	<p>まず最初に、皆様方の温かいおもてなし、取組みを共有できる場を提供いただき、ありがとうございます。私自身の経験として 10 年間韓国の SC 取組みを支援させていただいており、釜山市なども含まれています。昨年だけでみても 6 つの自治体を支援しており、セジョン市などの支援や亀夫市など、日本セーフコミュニティ推進機構代表（今回のアドバイザー）が審査していただいた自治体も含まれております。支援させていただいているところで、簡単ではなく多くの方の関わりと入念な準備がされているというのを強く感じる。</p> <p>今回の現地審査を迎えるに当たり多くの方の成果を整理して、どういう町にしていくかというビジョンを見せていただいた。その先には全ての市民が健康で安全に暮らしていくというビジョンが見れた。</p> <p>ここにいらっしゃる方、来られなかった方が久留米市の安全、SC の取り組みの向上をされた方全ての方に敬意を評したい。</p> <p>ここにいらっしゃる日本セーフコミュニティ推進機構のこの国の質を高まることに貢献されていることにお礼を言いたい。</p> <p>現地審査に際しての最後の講評ということで、説明をしたい。</p> <p>それでは 7 つの指標に基づき、説明します。</p> <p>指標の 1 は協働の基盤に基づいて進めていくと行くことですが、行政だけでなく地域や関係機関と協働して取り組んでいるのを見せていただいた。</p> <p>指標の 2 は、取組みを一時的なものではなく、いかに長期的そして継続的に取組みを展開しているか、安全安心の取組みは特定の方や地域だけでなく、全ての市民の方、地域において安全を想定した取組みをしているかというもの。条件を十分にみなし外傷予防をカバーしていることを確認できた。特に大変なのが不慮の事故だけでなく虐待などの包括的な取組みを行うこと。そのことを確認させていただいた。指標 1、2 は十分に満たしていることを確認させていただいた。</p>	

議 事 録

このように皆さんが包括的に取組みを進めているので、次のステップとハットンマトリックスに落とし込んで、何をできるかというのを一度整理されると思う。すると新しい気づきがあると思う。久留米市では是非出来ると思うので、紹介させていただきたい。

3つのフェーズがある。予防にも一次二次三次とある、交通事故にも3つのフェーズがあり、それにどういうことが出来るかというアプローチを検討していくもの。ハットンマトリックスは3つの取組み等は簡単なものではないので、次のチャレンジとしてご提案させていただいている。

指標の3は、ハイリスクの人を把握して取組みを行っているかというもの。どういう人がどういう環境がハイリスクか把握しているのかを確認させていただいた。

指標の4は、可能なエビデンス、根拠に基づいているかというもの。久留米市の場合は非常にデータに基づいて展開をされている。もう一つの側面として、データを分析して、すでに証明されているデータを使えないかというものであり、WHOのデータなどは白石先生に翻訳してもらって、そういうものを活用して、次のステップとして挑戦させていただきたい。

指標の5は、どのように色んな情報を収集しているか。怪我を予防するに当たって原因や発生頻度、場所などを収集する場があるか。国が提供するデータやアンケート調査など、包括的な情報収集の場を作っているのかを確認させていただいた。

指標の6は、思い付きではなくデータを活用して取組みを実践して、その評価を確認できる仕組みがあるかというもの。久留米市はしっかりできているというのを確認させていただいた。

指標の7は、国内のSCのネットワークに貢献してくださいというもの。久留米市の成果や他の自治体の取組みを参考にしたりなど、ネットワークがあるのを確認させていただいた。釜山会議が2年に一度開催されており、久留米市の代表の方が冒頭に報告されたので、確認させていただいた。

最後に、久留米市のSCの取組みの強みとしてまとめた。

1. 申請書が非常に素晴らしい申請書だった。論理的な説明がされている。色んなデータを読み解いて、それに基づいて課題を出して、成果を出している。
2. 市民の皆様のまちづくりの関わりとして、安全のまちづくりが継続しているのを感じた。
3. 独創的で工夫されているのを感じた。災害や自殺、子どもの虐待予防など、それぞれ工夫された取組みをされていると感じた。

このように強みをもとにこの5年間で成果を上げていると感じた、次によりよいものにするためにアドバイスをしたい。

議 事 録

近年、特に認証センターの方では、各国の好事例をみんなで共有することで、安全なまちにしてこうというものをネットで公表している。久留米市の取組みは、各国に紹介できるような取組みばかりだった。大切な5W1Hの情報を含んでいただきたい。

情報をしっかり明記して、他の自治体や世界に情報提供する準備を進めていただきたい。

多くの取組みをなし得てこられて継続は根気がいるものなので、継続をいかにしやすくなるかという視点でこれからも工夫をしていただきたい。3回目の認証まで発展していただける取組みをしていただきたい。条例の制定や将来を見越して継続していただけるか検討していただきたい。

ますます対策委員会同士の連携を進めていただきたいと期待している。犯罪とDVや虐待と自殺など色々な連携が出来ると思う。そうすることによって相乗効果が期待できると信じている。

今回の温かいおもてなしに対して、両審査委員ともお礼を言いたい。申請書において、強い決意と地域を安全にしたいか、継続性も示していただいた。書類審査のあと現地審査を見て、素晴らしい事例を見せていただいた。対策同士のつながりを通して生まれてきた事例に、多くの予防ができたのを見せていただいた。久留米市は素晴らしいSCの取組みをして、7つの指標を満たしており、再認証できると示していただいた。

審 査 員 ②

認証センターのシニアアドバイザーをさせていただいており、世界中の申請書を見させていただいており、その経験を元に久留米市の申請書は世界で1、2を争うくらい素晴らしい物だった。

各対策委員会の皆さんが一生懸命取り組んでいるのを感じた。後押しをしている市長、副市長の存在がありがたいと思った。

素晴らしい取組みの一つとして紹介させていただいたが、空に際限がないように、空がどこまでも続くように、久留米市がさらに高みを目指していただくことができと思うので、この2日間アドバイスを伝えさせていただいた。アドバイスに対して、何が出来るか市長、副市長とも検討していただきたい。それが出来た暁には世界に1番のまちになることを信じている。

私の最後の提言は、どうぞ対策委員会の皆さんが私たちがさせていただいたアドバイスに基づいて、相互の連携、協働の過程を市長に伝えていただきたい。市長は銀行で働いた経験もあるので、皆さんの要望を受け止めていただけたらと思う。

これから皆さんが益々市の為に尽力されるのを期待したい、私たちも協力させていただきたい。さらなるSCの発展を期待してコメントを終わらせていただきたい。

議 事 録

<p>市 長</p>	<p>最終の審査結果をお伝えする。おめでとうございます。十分に7つの指標を満 たしていることを確認できたので、再認証をお伝えさせていただく。再認証が確 定した暁には11月に厚木市で開催される会議に参加して共有していただきたい。 その次が2020年韓国のセジョン市（行政首都）が開催都市になるので、久 留米の取組みを共有していただきたい。 昨日は皆さんの温かい気持ちを感じることができた。</p> <p><謝辞></p>
------------	---

第17回久留米市セーフコミュニティ推進協議会 再認証現地審査「講評」 (敬称略・順不同)

No.	団体名	役職	氏名	7/31
1	一般社団法人久留米市交通安全協会	理事長	平岡 常男	×
2	浮羽地区交通安全協会	会長	石井 勝則	○
3	小郡三井地区交通安全協会	会長	光安 勝憲	○
4	城島三瀬交通安全協会	事務局長	宮下 高次郎	×
5	久留米安全運転管理連絡協議会	会長	永淵 俊毅	○
6	久留米商工会議所	会頭	本村 康人	○
7	久留米南部商工会	理事	秋吉 久美子	○
8	久留米東部商工会	女性部副部長	古賀 幹子	×
9	田主丸町商工会	女性部部長	小林 整子	×
10	久留米市農業協同組合	理事	緒方 友子	○
11	にじ農業協同組合	理事	馬渡 恵美子	×
12	みい農業協同組合	理事	井口 良子	○
13	三瀬町農業協同組合	女性部部長	田中 ヤク子	○
14	福岡大城農業協同組合	城島地区部長	佐藤 理恵子	×
15	公益財団法人久留米市体育協会	常務理事	佐藤 光義	○
16	久留米市私立幼稚園協会(永福寺幼稚園)	園長	山村 由比	×
17	一般社団法人久留米市保育協会	副理事長	森山 元喜	○
18	久留米市小学校校長会(草野小学校)	校長	塚本 秀二	○
19	久留米市中学校校長会(宮ノ陣中学校)	校長	久野 淳	○
20	久留米市小・中学校PTA連合協議会	家庭教育委員	樋口 美穂	×
21	久留米市学童保育所連合会	事務局主任	澁田 由見子	○
22	久留米市青少年育成市民会議	事務局長	吉住 英男	○
23	久留米保護区保護司会	副会長	石橋 力	○
24	久留米市老人クラブ連合会	女性部副部長	鶴長 サユミ	○
25	特定非営利活動法人くるめ地域支援センター	代表	物部 加奈代	×
26	久留米市身体障害者福祉協会	理事	永野 清	○
27	特定非営利活動法人久留米市障害支援運営委員会	理事	古賀 勝子	×
28	久留米市女性の会連絡協議会	会長	池田 博子	○
29	久留米市田主丸町地域婦人会連絡協議会	会長	横溝 敏子	○
30	久留米市北野女性の会	理事	溝上 ゆり子	○
31	城島女性ネットワーク	幹事	石川 園恵	×
32	三瀬校区女性の会	会長	立石 米子	○
33	久留米男女共同参画推進ネットワーク	会員	柳尾 和枝	○
34	久留米市民生委員児童委員協議会	副会長	山田 三男	○
35	社会福祉法人久留米市社会福祉協議会	会長	川地 東洋男	×
36	久留米市地区社会福祉協議会連合会	副会長	松平 信俊	○
37	一般社団法人久留米医師会	会長	田中 二三郎	×
38	一般社団法人浮羽医師会	副会長	宮崎 正樹	×
39	一般社団法人小郡三井医師会	理事	田中 泰之	×
40	一般社団法人大川三瀬医師会	理事	石橋 裕二	○
41	公益財団法人生きがい健康づくり財団	常務理事	八尋 幹夫	○
42	久留米大学医学部環境医学講座	主任教授	石竹 達也	○
43	聖マリア学院大学看護学部大学院看護学研究科	教授	日高 艶子	○
44	久留米市ボランティア連絡協議会	副会長	山村 秀敏	×
45	久留米市校区まちづくり連絡協議会	会長	古賀 秀心	○
46	田主丸地域 水縄校区まちづくり振興会	会長	刈茅 重信	○
47	北野地域 大城校区まちづくり振興会	会長	有川 修二	○
48	城島地域 青木校区まちづくり振興会	会長	堀 正文	○
49	三瀬地域 三瀬校区まちづくり振興会	会長	古賀 文雄	○
50	久留米市防犯協会連合会	副会長	富澤 章	○
51	うきは防犯協会田主丸支部	支部長	佐藤 啓二	×
52	久留米市校区暴力追放推進協議会連絡会議	副会長	梶原 靖	○
53	特定非営利活動法人日本防災士会久留米支部	事務局長	田島 スマ子	○
54	久留米警察署	署長	西田 英徳	○
55	うきは警察署	署長	南谷 聡	×
56	久留米広域消防本部	消防長	井上 秀敏	○
57	久留米市消防団	団長	水田 信行	×
58	久留米労働基準監督署	第2方面主任	安部 勝彦	×
59	久留米児童相談所	所長	待鳥 ヒロ子	×
60	久留米市	市長	大久保 勉	○
61		副市長	中島 年隆	○
62		副市長	森 望	○
63		教育長	大津 秀明	○

出席 42 欠席 21